

京都大学 産官学連携本部
特定有期雇用教員 募集要項

令和5年1月23日

職種	特定准教授、特定講師または特定助教（特定有期雇用教員）
募集人数	1名
所属	京都大学産官学連携本部
勤務場所	SPring-8 京都大学ビームライン（所在地：兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1）
職務内容	<p>京都大学は SPring-8 内に専用ビームラインを所有し、NEDO の委託業務である「電気自動車用革新型蓄電池開発（RISING3）」の研究開発に供している。このビームラインの管理・運営及び放射光計測手法の高度化に取り組みつつ、自ら蓄電池の性能向上に関する研究開発も遂行する。</p> <p>《参考》 電気自動車用革新型蓄電池開発プロジェクトの活動等については、HP をご覧ください。 https://www.rising.saci.kyoto-u.ac.jp/</p>
資格等	<ul style="list-style-type: none">・博士の学位を有すること。または、着任日までに取得見込みであること。・上記の職務内容を遂行する能力と意欲があること。・国籍は問わないが、研究業務で使うレベルの日本語が使えること。
希望する人材	<ul style="list-style-type: none">・ X 線回折・散乱、X 線吸収分光、X 線光電子分光など用いた実験と解析を主体的に実行できる能力、あるいは習得する意思があり、これにより蓄電池研究を展開できる方。・自身の研究だけでなく、ビームラインの運営やユーザへの施設供用も積極的に行い、プロジェクトに貢献できる方。・上記を満たした上で、Python、LabVIEW、spec その他いずれかのプログラミング言語を習得している、あるいは習得する意欲がある方。
雇用期間	令和5年4月以降のなるべく早い時期（相談可能）～令和6年3月31日まで （期間満了後、更新する場合あり。ただし最長10年まで。）
試用期間	あり（6か月）
勤務形態	専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当） 休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日
給与等	本学支給基準に基づき、能力・経歴により決定（年俸制）
手当	なし
社会保険	文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険および労災保険に加入
応募方法	<p>下記（1）～（5）の書類を PDF ファイルとし、圧縮（Zip 形式）したうえで、JREC-IN Portal から Web 応募をしてください。</p> <p>データ番号： D123011061 https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D123011061&ln_jor=0</p> <p>（1）履歴書（JREC-IN Portal の履歴書、備考欄に着任可能な時期、ORCID および ResearcherID</p>

	<p>を記載すること)</p> <p>(2) 業績リスト： 学術論文（査読を経たもの）・国際会議論文・解説・著書・特許・受賞歴・招待講演等に分類したもの</p> <p>(3) 主要論文別刷 3 編以内</p> <p>(4) 現在までの研究内容の要約（A4 用紙で 1 ページ程度）</p> <p>(5) 今後の研究に対する抱負（A4 用紙で 1 ページ程度）</p>
応募締切	適任者が決定次第、募集を締め切ります。
選考方法	<p>書類審査の後、審査通過者に面接を行います。面接の詳細については対象者にのみ連絡します。</p> <p>※ 面接方法や日時等の詳細は対象者に電子メールにてご連絡します。</p> <p>※ 面接に関わる費用は自己負担となりますので、予めご了承ください。</p>
問合せ先	<p>〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学宇治地区先端イノベーション拠点施設</p> <p>京都大学産官学連携本部 電気自動車用革新型蓄電池開発（RISING3）</p> <p>プロジェクト事務局（担当：村山）</p> <p>TEL： 0774-38-4948</p> <p>E-mail： rising-koubo*mail2.adm.kyoto-u.ac.jp（「*」を「@」に変えてください。）</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・提出頂いた書類は、採用審査にのみ使用します。正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。応募書類はお返ししませんので、予めご了承ください。 ・京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待します。 ・出産・育児期間中の業績は休業期間の前後と等しいものとみなします。 ・京都大学では、すべてのキャンパスにおいて屋内での喫煙を禁止し、屋外では喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。